

2018年11月8日

「マツダ CX-8」が「2018～2019 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞

マツダ株式会社(以下、マツダ)のクロスオーバーSUV「マツダ CX-8」が、「2018～2019 日本自動車殿堂カーオブザイヤー」*1 を受賞しました。マツダ車が同賞を受賞するのは、2015 年の小型オープンスポーツカー「マツダ ロードスター」に続いて、今回が 4 回目となります。



「マツダ CX-8」

「CX-8」は、多人数乗用車の新たな選択肢として 2017 年 12 月に発売された、マツダの国内ラインアップにおける最上位 SUV です。このたびの日本自動車殿堂による選考においては、「スタイリッシュな 3 列シート SUV」、「卓越した運動性能と効率的な室内空間」、「運転負荷の軽減と先進の予防安全技術」が評価されました。

国内の 3 列シート SUV 市場は拡大する傾向にあり、その中で「CX-8」は、2018 年上半期において、最も多く販売された 3 列シート SUV となりました*2。お客さまからは「ゆったり遠くへ気持ち良く走れる」*3、「想像以上の上質感かつ低燃費」*3 などのご評価をいただいております。また、平成 29 年度の JNCAP*4 自動車アセスメントにおいて、「衝突安全性能評価ファイブスター賞」を最高得点*5 で受賞。また、同アセスメントの予防安全性能評価においても最高ランク「ASV++」を満点で獲得しており、衝突被害軽減から事故リスク低減まで、優れた安全性能を兼ね備えています。

マツダは今後も、日常のさまざまなシーンで「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を感じていただけるよう継続して商品改良を行うことにより、お客さまの人生においてかけがえのない存在となり、お客さまと特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

以上

- *1 日本自動車殿堂(藤本隆宏会長)は、日本における自動車産業・学術・文化などの発展に寄与し、豊かな自動車社会の構築に貢献した人々の偉業をたたえ、殿堂入りとして顕彰し、永く後世に伝承してゆくことを主な活動とする特定非営利活動法人(NPO)。選考方法など、詳細は同法人のウェブサイト参照(<http://www.jahfa.jp/>)。
- *2 「3列シート SUV」とは、自販連区分ジープ型の4輪駆動車でワゴンとバン・トラックを含む(一部2WD含む)国産車のうち、乗車定員6名以上の車種を指す。「CX-8」の2018年上半期(1-6月期)累計販売台数は18,457台(日本自動車販売協会連合会発表のデータにもとづく)。
- *3 マツダ Driver's Voice(<http://www2.mazda.co.jp/carlife/voice/cx-8/>)より引用。
- *4 JNCAP(Japan New Car Assessment Program)は、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)が、安全な自動車の普及を促進する目的で、平成7年度より公表している自動車の安全性評価。現在市販されている自動車の安全性能について 衝突安全性能および予防安全性能の評価結果を公表しています。
- *5 総合評価 208点満点中、193.9点の評価で、平成29年度の受験車中の最高得点を獲得。